

「つまらん心配するな」。ベテラン先生の回答は、受験生に元気と勇気を与えます。

受験生の悩み **ズバリ** 答えます



Q1 志望校について、親から反対されていて、意見が合いません。

A あなたが本当に「行きたい」と思える学校に出会えたのなら、それは是非とも叶えたいですね。親御さんには、反対する理由や思い、そのお考えになるまでの背景などを聞いてみたことはありますか。もし聞けたなら、根底にあなたへの深い愛情があることを感じられるかもしれません。ただ、親御さんが、ご自身の経験から辿り着いたお考えは、もしかしたら、今のあなたにはそぐわないものかもしれません。親御さんの反対意見に対し、真っ向から反発することなく、その愛情の部分は素直に受け取りながら、あなたの思いや考えも、まっすぐ伝えられるといいですね。「自分の人生を考える」という、初めてかもしれない機会、応援しています!

Q2 志望校が決まらず、焦っています。
どうやって決めればいいのでしょうか。

A 志望校って悩めますね。周りがもう決まっているとしたら焦るし、ここで間違った選択をしてしまったら、どうなっちゃうのだろう?なんて心配になりますよね。けれども、社会に出た大人たちでさえ、「自分が本当にやりたいことって何だろう?」「本当にこの仕事をしたかったのか?」と、働きながらもその仕事や将来について考えたり悩んだりするものです。だから、この先、いろんな人生経験が待っているはずのあなたが、志望校が決まらずに悩むなんて、当たり前のことかもしれません。きっと「正解」はありません。焦って決める前に、いろんな角度から考えてみることで、自分の心にフィットしそうな、という感覚を養うことは大切です。

Q3 兄は勉強ができるのですが、僕は勉強が苦手です。
親や先生から兄と比べられるのがすごく嫌です。

A 勉強ができるできないで、優劣を決められてしまうような感覚になるのは辛いですね。ましてや、身近なお兄さんと比べられるのは、面白くないでしょう。けれども、実は、大人たちもそんな道をたどって来ています。「勉強ができること」から得られる損得を、それはそれは色々経験して来ているのです。そんなお話を、人生の先輩である親御さんから聞いてみたいですね。そして、あなたの今の心境も伝えたと、「勉強ができることで、もしマイナス点があるとしたら?」「勉強できないことで得られるものがあるとしたら?」などと、これまでとは違う視点で話し合ってみると、お互いの立場や気持ちに近づけるかもしれませんね。

回答者:

Q1～Q4 TCS認定シニアコーチ・MCS認定シニアマザーズコーチ 相原めぐみ

Q5～Q7 教育ジャーナリスト・元公立高校教諭 梅野弘之